

事業峻別の進捗状況について

1 事業峻別委託契約先

株式会社 経営共創基盤（IGPI）

2 事業峻別の実施内容

(1) 峻別の基本アプローチ

区分	内容
1. 事業・業務の可視化	各課が所管する事業や業務を一覧化し、実施内容、工数、事業特性、市民への影響などを整理します。
2. 事業単位での検討	各事業について、必要性、法的義務、市民への影響、代替可能性、費用対効果等を確認し、廃止・縮小・統合・見直しの余地を検討します。
3. 業務単位での検討	事業を構成する業務について、重複や非効率なプロセスがないかを確認し、効率化や業務量削減の可能性を検討します。
4. 施策案・実行計画の策定	見直し候補について、実現可能性や効果を評価し、優先順位を付けた上で、具体的な実行計画を策定します。

(2) 事業・業務のイメージ

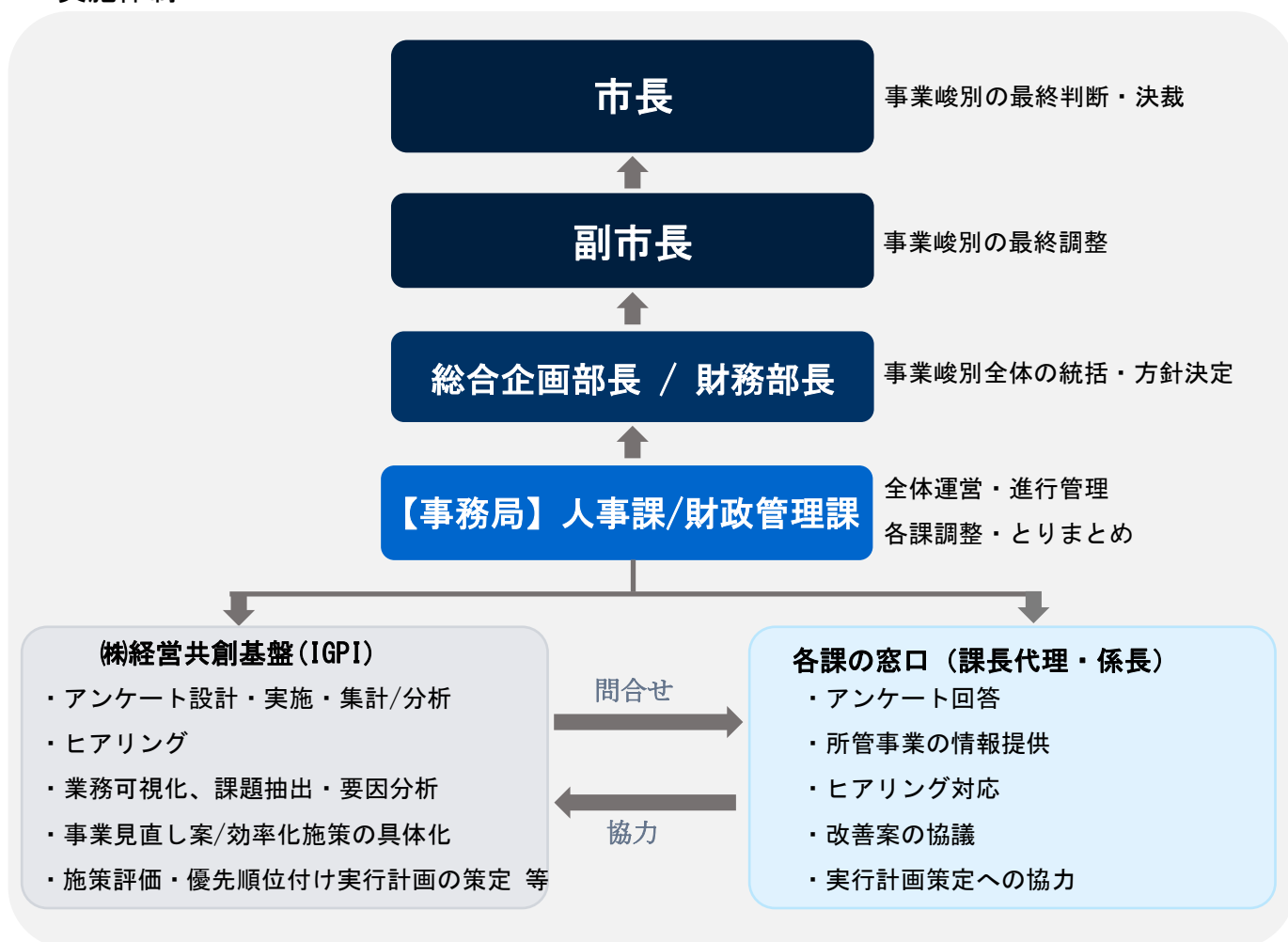


(3) 検討の観点

客観的かつ多角的な視点から事業の妥当性を検証するため、以下の3つの評価軸に基づき分析を行います。各事業の所管課に対するアンケート調査及びヒアリングを実施し、定性的・定量的な実態把握を行います。

観点	主な確認内容
1. 行政の役割	真に行政が担うべき事業か。民間、地域、他団体との役割分担は適切か。
2. 費用対効果・事業規模	投入している人員・予算に見合う成果が得られているか。事業規模は適正か。
3. 業務プロセス	業務の進め方に無駄や重複はないか。デジタル化、外部委託、統合等による効率化の余地はないか。

3 実施体制



4 全体スケジュール（予定）

- (1) 第1フェーズ：可視化・全庁アンケート実施（4月～5月）
 - ・4月：プロジェクトのキックオフ、職員向け説明会の実施。
【事業単位】でのアンケートを実施。
 - ・5月：【業務単位】でのアンケートを実施。
6月中旬を目途に全庁的なアンケート調査を完了。
- (2) 第2フェーズ：事業単位の峻別・検討（6月～9月）
 - ・6月：評価軸に基づく対象事業の絞り込み、見直し事業案の導出。
課題深掘りのための職員ヒアリングを実施。
 - ・8月：委託事業者から市への中間報告。
 - ・9月：市議会との意見交換会を実施。
- (3) 第3フェーズ：業務単位の効率化検討（8月～9月）
 - ・8月：業務単位での絞り込み、深掘り対象を決定。
 - ・9月：業務プロセスの課題特定、具体的な廃止・効率化施策案の策定。
- (4) 第4フェーズ：施策評価、実行計画の策定及び予算への反映（10月～1月）
 - ・10月：施策の実現可能性や効果に基づく優先順位の決定。
実行計画具体化に向けたヒアリングを実施。
 - ・11月：実行計画（タスク・対応者・スケジュール）案の策定。
 - ・12月：委託事業者が市への最終報告。
市議会への最終報告の説明会。
 - ・1月：市長査定、次年度以降に向けた予算への反映。

5 進捗状況

(1) 事業・業務の可視化

事業及び業務の可視化のため、次のとおりアンケートを実施。アンケート設問は別紙1のとおり。

事業アンケート		業務アンケート	
見直し事業		所管事業	
目的	廃止見直し余地のある <u>事業</u> の特定		廃止/効率化余地のある <u>業務</u> の特定
実施時期*	配布：4月14日 回収：4月23日		配布：5月19日 回収：6月16日
対象者	依頼先	各部課	各課
	回答者	係長～部長級	係長～課長代理
回答単位	事業		所管事業を構成する業務

(2) 見直し対象事業の選定

- ・次のフローにより、事業アンケートでの意見数やスコアリング結果から、ヒアリング対象事業を決定。現在対象事業のヒアリングを実施している。
- ・ヒアリング対象事業以外は、業務の可視化のため業務アンケートを実施している。

○見直し対象事業の選定フロー

